

第二の人生を水海道あすなろの里で過ごす

ひな人形たちの ものがたり

2月4日は立春。暦の上では、春がはじまります。立春から桃の節句である3月3日までは各家庭や地域でひな人形を飾る風景がみられます。市内でも大塚戸町にある水海道あすなろの里では、毎年ひな人形の飾り展示を行っています。

水海道あすなろの里のひな飾りには、年々受け継がれている地域とのつながりや飾りの多様性があります。今月号の特集では、あすなろの雛祭りを創り、想いを継いでいる方々取材しました。水海道あすなろの里のひな飾りに込められたストーリーをご覧ください。



過去の雛祭りの様子



段々の壮麗なひな飾りから少し変わった表情をしたひな人形まで様々なひな飾りがみられる水海道あすなろの里の雛祭り。この人形たち、実は過去に誰かの健康な成長を願ってご家庭で飾られていた人形たちなのです。

子どもが大きくなり、飾る機会が減ってしまったひな人形を水海道あすなろの里へ寄贈いただき、あすなろの雛祭りは始まりました。ひな人形たちは、水海道あすなろの里に訪れる方々の健康と幸せを願う「第2の人生」を歩んでいます。

※現在はひな人形の寄贈を受け付けていません。

誰かの成長を見守ってきた人形
次は地域の彩りとして

雛祭りができるまで

雛祭りは地域のボランティアの方々によって支えられています

1月
10日頃

竹の切り出し



竹あかりイルミネーションや入口に飾る竹筒飾りに使用する竹を近隣の竹林から切り出します。

1月
20日頃

ひな飾りの下準備



保管されているひな人形や段飾りの装飾を取り出し、飾りつけを行うための下準備を行います。

1月
25日頃

飾りつけ作業



段飾りやつるし雛、生花など、様々なひな飾りを地域のボランティアの方々により飾りつけます。

2月
4日頃

ひな人形の展示開始



節分を終えた翌日からひな飾りの展示が公開されます。様々な種類のひな飾りを見ることができます。

あすなろの雛祭り

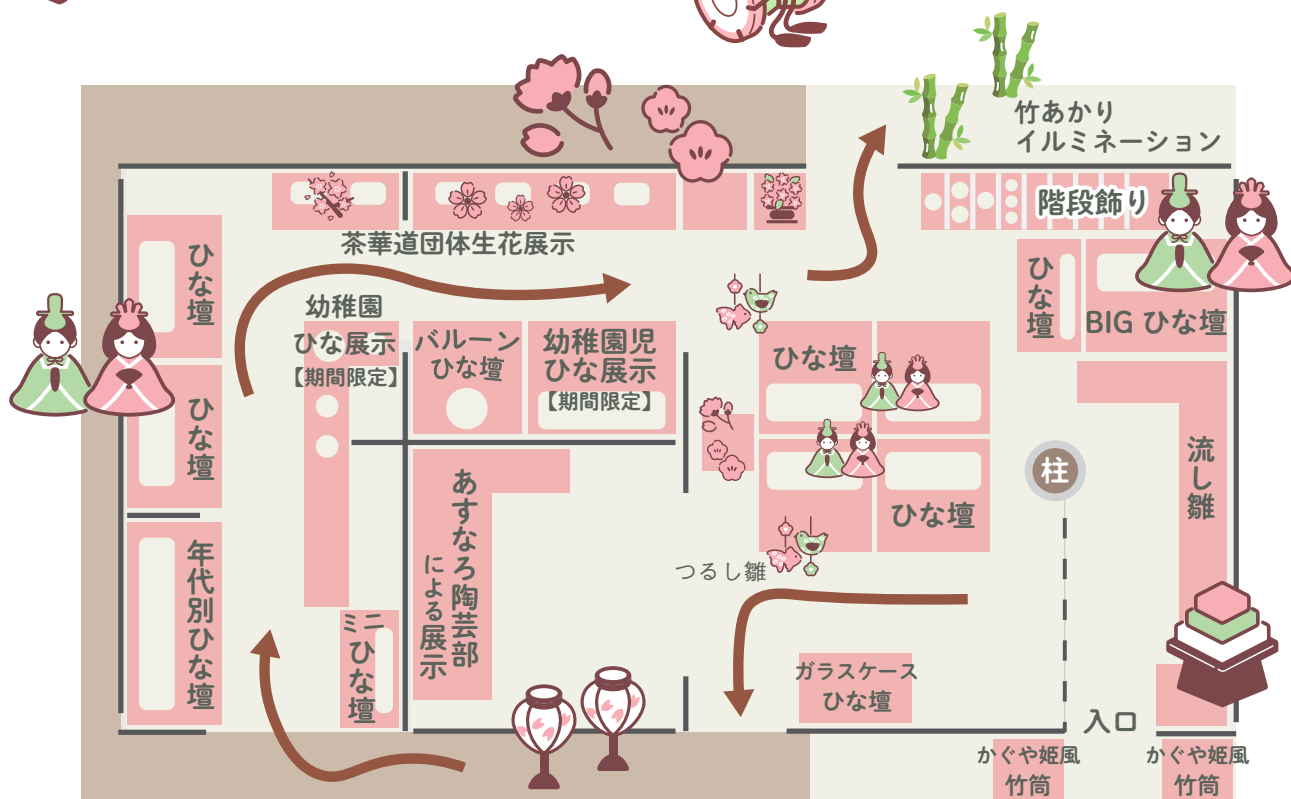
2026

フロアマップ



階段を
豪華に彩る

階段へイルミネーションを施し、ひな人形へ煌びやかさをプラスしました。また、出口廊下の足元へ竹灯りを置き、優しい光が来園者を包みます。



彩り豊かな
ひな人形

地域ボランティアの方々の手作りつるし雛が魅力的です。展示会場のひな人形をより華やかに飾り、会場全体が賑やかな空間になるように演出しています。

順路 ↑

会場入口では、かぐや姫風竹筒がお出迎えします。そして、会場に入ると目の前に迫力ある段飾りのBIGひな壇も。おすすめの撮影スポットです。

最初の見どころ

担当者インタビュー

Q おすすめの見どころは？

おすすめは、協力団体が制作した陶器のひな人形やつるし雛、バルーンひな飾り、生花などです。市内の子どもたちが一生懸命作った作品も飾ります。持ち物が通常と違う変わったひな段をぜひ探してみてください。

一般財団法人水海道あすなろの里 岩田主事

Q イベントへの意気込みを

写真映えるような美しい展示をしていきたいです。そして、お客様や協力していただいたボランティアの方など多くの皆さんが楽しめるよう、盛り上げていきたいと思っています。

一般財団法人水海道あすなろの里 関主幹

◆問い合わせ＝水海道あすなろの里 ☎27-3481



あすなろの雛祭りの立ち上げに関わった
岡野治二さん（最左）

つるし雛制作展示で雛祭りを支える「ちりめん細工の会」（坂手地区）
長谷川ふじ子さん（左から2人目）、戸塚啓子さん（右から2人目）
段飾りの飾りつけや趣向を凝らした展示に携わる「ちりめん細工の会」
（大塚戸地区）染谷幸子さん（最右）

会場を彩るつるし雛を制作しているのは、ボランティア団体「ちりめん細工の会」の皆さんです。古い着物の布などを使い、一針一針手作業で仕上げています。「さるは『難が去る』、かえるは『無事かえる』。意味を知ると、作る楽しさも増します」と笑顔で話します。

「毎年楽しみにしている」という来場者の声が励みになる一方、後継者不足といった課題もあります。「今のメンバーだけで続けていくのではなく、もっといろいろな方に関わってもらえたらうれしいですね」と話します。「作ることや飾ることを、体験として楽しんでもらえる雛祭りになったら」。無理なく、できる人ができる形で参加できる場を思い描いています。地域の人の思いと手仕事に支えられながら、あすなろの雛祭りは、今年も静かに春を迎えます。

水海道あすなろの里で、毎年2月に開催される「あすなろの雛祭り」。この催しは、冬の時期にも施設に足を運んでもらえる機会をつくれたらと考えたことから始まりました。

「最初は、地域から寄付されたひな人形を飾るところからでした」と岡野さんは話します。展示を重ねるうちに、つるし雛や陶芸の雛、幼稚園児の作品などが加わり、少しずつ広がっていきました。今では、多くの人に関わる、季節を感じる行事として親しまれています。

人の手がつないできた、
ひな祭りの時間

ひと針に願いを込めるつるし雛、
地域の想いが行事を支える



information

あ
す
な
ろ
の
雛
祭
り

20
26



ひな人形の展示期間

2月4日（水）～3月8日（日）
各日10時～16時

※水海道あすなろの里休園日を除く

第11回あすなろの雛祭り

2月22日（日）・23日（月・祝）
各日10時～15時